



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルングクラブ合併)

2024年
2月号
(第8号)

今月のことば

「理解されるよりも理解する者に、愛されるよりも愛する者に。」（「アッシジの聖フランシスコの祈り」から抜粋）（田中博之 選）

（当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です）

2023～2024 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「さあ、ワイズの楽しさを広めよう！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、継続・発展！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出合う！」
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう！」
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛
 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ: TOF(Time of fast), FF(Family fast), HTW(HTW についてはブリテン 3 ページで解説)

2月例会プログラム

- 日時 2月6日(火) 19:00～20:30
 会場: ベルブ永山 3階講座室
 会費: なし (夕食はありません)
 *オンライン (Zoom) でも参加できます
- 司会: 尾張日出夫 受付: 石田孝次
- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
 - *ワイズソング 一同
 - *今月のことば 田中博之
 - *ゲスト/ビジター紹介 会長
 - *会長挨拶
 - *今月のスピーチ
 スピーカー: 為我井輝忠さん
 「桜美林学園創設者の清水安三先生から学ぶこと」
 - *次期クラブ役員承認
 - *チーム報告 (プランター講座、農園、社協など)
 - *YMCA ニュース、各種アピール等
 - *能登半島地震支援献金
 - *今月のハッピーバースデー
 - *YMCA の歌
 - *閉会点鐘 会長

巻頭言 「生涯ボランティア」

私は今、両親の介護の為、Y's への参加をお休みさせて頂いています。でも、私のモットーである、"生涯ボランティア"をお休みしていることが寂しくて、早く復帰したいと願っていますが、同時にそれは介護生活の終わりを意味することでもあり、複雑な思いです。

昨年、父が天寿を全うし 92 歳の生涯を閉じました。半分肩の荷が降り"ほっ"としましたが、両親二人で暮らしていたのが、母を自宅に迎え更に負担が増えました。

現在、東京都特別支援学校のスクールバスの添乗員として、日々障害のある子ども達と接していますが、卒業して見送った子ども達も含め、関係を切ることなく Y's のイベントで関わっていききたい、という夢があります。

今まで、ぼんぼこ農園・藤田智さんのプランター野菜講座を発案するも、実作業は全てクラブの仲間丸投げ、何の役にも立てていない事が申し訳なく、悔しい気持ちで一杯ですが、仕事と介護の両立がやっとでボランティア活動する時間的余裕がありません。まだまだ沢山秘めている夢を実現する為に、Y's の活動に復帰出来る日を楽しみに、日々努力していきます。(滝口恵子記)



2月の Happy Birthday
 井上富子さん(15日)、伊藤幾夫さん(17日)

1 月 例 会	在籍17名 (内広義会員6名)	出 席 内 訳	メンバー 9名	BF 0g (昨年度積残分110g)	オークション 0円
	例会出席 98名 (在京ワイズ新年会)		メーキャップ 2名	ぼんぼこファンド 0円	(今年度累計 8,500円)
			出席率 100%	(今年度累計 2,800円)	スマイル 0円
			メネット 0名		(今年度累計 58,083円)
			ゲスト・ビジター89名		

1月例会（在京ワイズ合同新年会報告）

1月13日（土）、恒例の在京ワイズ合同新年会がリアルで開催され、当クラブは、これを1月例会扱いといたしました。

会場は、東陽町コミュニティーセンターで、ホストは東京グリーンクラブ、参加者は20クラブから約100名でした。当クラブからは、ゲストの赤染さんを含め10名という多くの参加がありました。



13:30に第1部の新年礼拝が開催され、冒頭、能登半島地震の犠牲になられた方々のために黙祷を行いました。ワイズソング、讃美歌、グリーンクラブ西澤さんの奨励、東京グリーンクラブ樋口会長の歓迎のことば、田口日本YMCA同盟総主事、星野東京YMCA副総主事の祝辞と続きました。礼拝献金はYMCAの能登半島地震の緊急支援に捧げられました。第2部はアンディムジークによる新春コンサートで、ピアノ、サクソフォーン、ソプラノの美しい調べを堪能しました。

記念写真撮影の後、第3部の懇親会が、鏡開き、乾杯で開始されました。



久しぶりにリアルで会う仲間も多く、特製の甘酒やサンドイッチ等の軽食を楽しみながら、愉快的談笑のときを持つことができました。参加各クラブの紹介、アピールタイムの後、YMCAの歌、閉会点鐘で、定刻の16時半にお開きとなりました。

東京グリーンクラブの皆さんの入念な準備、ホスピタリティーに感謝いたします。（田中記）

《当クラブからの出席者》石田、伊藤（幾）、伊藤（江）、城田、田中、為我井、深尾、藤田、綿引、赤染（ゲスト）（10名）メーキャップ：小野、尾張

1月第2例会（運営会議）報告

1月8日（月）19:00から、第2例会（運営会議）がZoomにて開催され、会計報告、2月例会プログラム、ブリテン割り付けの他に以下のことが報告、話し合われました。

- ぼんぼこ農園の生育状況
- 慈有塾の卒業生の宿舎についての情報交換
- 新入会員候補者への対応：2-4月例会での入会を目指す。
- BF切手：為我井さんに手渡す。
- プロボノリスト：各自、積極的に記載する。2月例会でも説明する。提出締切り：2月末
- 東日本区各種献金への対応：旧東京多摩みなみは、旧クラブ会計から5万円、旧東京町田スマイリングは旧クラブ会計から目標金額相当を抛出し、個人からの献金を呼びかけ、上乘せする。
- 2月第2例会：部長公式訪問。今井部長がパワーポイントを用いて部長方針を説明する予定

《出席者》石田、伊藤（幾）、小野、尾張、城田、田中、為我井、綿引 合計8名（田中記）

在京ワイズ会長会報告

1月13日（土）10:00～11:30、東京YMCA社会体育・保育専門学校2階演習室で開催されました。在京ワイズ15クラブと東京YMCAおよび在日本韓国YMCAスタッフが集い、それぞれの報告、PRを行いました。来年の在京ワイズ新年会のホストは東京西クラブとなります（チャーター順）。（伊藤幾記）

BF切手のお願い

使用済み切手を担当の藤田までご提出ください。2月合同例会にお持ちください。少しでも結構ですので、よろしく願いいたします。BFとは、以前は「Brotherhood Fund」の略でしたが、一昨年5月の国際議会で「Building Fellowship」と名称が変更になりました。BF代表の公式旅行やワイズ運動のリーダーを養成するための費用に充当するため、全ワイズメンが積み立てる基金です。集めた使用済みの切手を換金し、無から有を生み出すことが、この活動の原点です。ご協力をお願いいたします。（藤田記）

自主献金のお願い

例年、2月にはメンバーの皆様へ自主献金をお願いしています。今年度の献金科目は、国際・地域奉仕(CS)、主事・リーダー研修(ASF)、エイズ等啓発(FF)、リーダー養成(BF)、発展途上国支援(TOF)、マラリア撲滅(RBM)、クラブ設立支援(YES)、ユース活動支援の8科目です。今年度も例会時の食事を行っていないことからぜひTOFを献金対象に入れてください。皆様のご協力、よろしく願いいたします。（綿引記）

2月例会のスピーカー

為我井 輝忠さん

東京多摩スマイルクラブ会員



「桜美林学園創設者の
清水安三先生から学ぶこと」

【スピーチ概要】

清水安三先生の戦前の中国、そして戦後の日本での足跡をたどり、先生から学ぶべきことを共有したい。

【プロフィール】

私の師であった池田鮮先生は戦前の北京で、清水先生共に労し、キリスト教実践を果たしてきた。両者から大いに感化を受けた。

* 今月の為我井さんのスピーチは、2/1(木)東京YMCA 早天祈祷会でも披露されました。2月例会では、時間をより多く割き、質疑応答も交えながら、みなさんと共有したいと思います。(伊藤幾記)

公示:2024-2025 年度クラブ役員候補者

次期クラブ役員候補者を次のとおり選出しました。前年度と同じ顔ぶれになります。2月例会で承認を受けます。

- * 会長候補：伊藤 幾夫
- * 副会長候補：為我井輝忠
- * 書記候補：田中 博之
- * 副書記候補：尾張日出夫
- * 会計候補：綿引 康司
- * 副会計候補：城田教寛
- * 直前会長：深尾 香子、為我井輝忠
- * 担当主事：小野 実

東新部次期役員準備会 I 報告

1月27日(土)15:30~17:00、Zoomで次期部役員準備会Iが11名の参加で行われました。今井武彦次期部長(2年目、東京むかで)の主題、活動方針が示されました。主題は「ALL 東新部、試練を越えて進もう!」。活動方針については、「東新部の進むべき道を考え、一步一步高みに向かおう」として、いくつかの具体的な事柄が示され、議論が行われました。当クラブから下記5名が部役員として加わります。

次回準備会IIは3/23(土)にZoomで開催されます。直前部長：深尾香子、部書記/LT委員長：伊藤幾夫、部会計：石田孝次、地域奉仕・YMCA サービス事業主査：綿引康司、ユース事業主査：城田教寛(当日、石田さんは所用で欠席でした)(伊藤幾記)

東新部 EMC セミナー

「ワイズは楽しい!」を原点到に」をテーマに下記のとおり EMC セミナーを開催します。

先日、ワイズ後期半年報が発表されました。新たな入会者29名に対して、退会者は33名でした。東日本区の会員数は722名となりました。東新部は73名です。東新部でも、メンバーの高齢化、会員数の減少により、クラブ活動の停滞が深刻な問題となっています。今期、今井部長の主題「ALL 東新部、継続・発展!」のもと、毎月、Zoomでの「Y友広場」「会長会」を開催し、課題の共有化を図っていますが、全体にまで広がりが出ていないのが現状です。そこで、下記のように「EMC セミナー」を開催することになりました。

* 日時：2月23日(金、祝) 13:30~16:00

* 場所：東京 YMCA 東陽町センター

(オンライン Zoom 参加もできます)

発題1 「東新部の現状」

加藤義孝(会員増強事業主査、東京)

発題2 「ALL 東新部~打開の糸口として」

今井武彦(東新部部長、東京むかで)

発題3 「クラブ統合という試み」

伊藤幾夫(部 LT 委員長、東京多摩スマイル) みんなで知恵を絞って、困難を乗り越えていきましょう。ご参加をよろしくお願いします。

(伊藤幾記)

今月の強調テーマ「HTW」について

【ヒールザワールド】「世界を癒そう」(Heal the World. 略号: HTW)。国際協会が2020/21年度に開始した「統一国際プロジェクト」で、世界を癒すために、強固な国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティアの力を、より発揮することを目的としています。

主な活動内容は、災害時等の救援物資の提供/ボランティア支援、医療/健康プログラム、専門家のネットワーク構築など。プロジェクトの資金は、主としてTOF 献金が用いられます。これまで、インド、ラテンアメリカの新型コロナウイルス感染者支援活動やウクライナ支援がヒールザワールドのプロジェクトとして行われてきました。(田中記)

プロボノリスト

「プロボノ」とは「公共善のために」を意味するラテン語(Pro Bono Publico)を語源とする言葉で、公共のために専門的なスキルを活かすボランティア活動のひとつです。2月例会でも説明します。積極的な登録をよろしくお願いします。(伊藤幾記)

地域 CS 活動報告

地域 CS 活動の事例としてこれまでも継続的に寄付や採れたて野菜の無償提供などで支援してきた一般社団法人慈有塾に対する応援活動の事例を報告します。

高木代表から依頼があり、従来から不定期に助成金の給付を受けてきた公益財団法人 倶進会への本年度の助成金申請をすることになり「慈有塾」の活動に少しでも関わってきた団体や個人の中から2名の第三者による推薦人が必要とのことで東京多摩スマイルクラブの石田を指名して推薦人となって欲しいとの依頼を受けました。申請期限が迫っていたため二つ返事で引き受けることを快諾しました。コロナ禍の前年に「慈有塾」を知り、「慈有塾」は、高卒資格認定試験受験者向けの無料塾として地元聖蹟桜ヶ丘駅の近くのビルの一室を借りて受験生に受験準備のための授業を実施する傍ら、難しい家庭環境の中で苦学している受験生の精神的な拠り所にもなってきました。そんな活動の姿を知るにつけ、「ほしい物リスト」の教育資材や文房具の購入、お届けから始まり、日頃から十分な食事も摂れていない学生さんがいると聞いて、「ぼんぼこ農園」で採れた野菜を教室までお届けしたり(主に佐々木さんが担当)、また昨年12月にはクリスマス例会に高木代表の他、講師の先生1名、学生さん2名をご招待し、クラブで貯めた資金の中からまとまった金額の寄付と学生さんへのクリスマスプレゼントとして図書カード20枚をプレゼントしました。我々のそんな小さな活動に感謝し、敬意を払ってくれたことが今回の推薦人の運びとなりました。慈善活動の尊さと名誉を同時に体験することができました。「慈有塾」が公益財団法人 倶進会から無事助成金の提供が受けられますよう祈念しております。(石田記)

能登半島地震被災者向け街頭募金参加報告

多摩市社会福祉協議会の呼びかけがあり、1月6日多摩センター丘の上広場と10日永山グリナード広場にて能登半島地震被災者への街頭募金活動に参加しました。休会会員の峰岸さんも駆けつけてくれ一緒に段ボールの看板を掲げながら大きな声で義援金の応援を呼びかけました。新年早々元旦に発生したばかりの大惨事と言うこともあって関心も高く、道行く人の反応は、これまで同じ場所で私が経験してきた「赤い羽根募金」の時とはまるで違う反応に驚きました。中にはお札を入れてくれる人も多くいました。今回は、支援の対象者が見えているのでたくさんの方の応援につながったのだと思います。お子さん連れやご年配の方々、ボラセンの体操仲間などみなさんの善意に感動しました。ご協力者の背中に向かって大きな声でお礼を言いました。みなさん笑顔で振り返ってくれました。

そして、24日には、東京 YMCA 山手センターが、主催した高田馬場駅早稲田口での街頭募金にも参加しました。責任者の戸坂さんを始め多数のユースリーダーや看護学校の生徒さんたちの加勢で20人を超える体制で街頭募金に立ちました。16時から17時30分の間、寒さ



は厳しいものがありましたが、時間が進むにつれ募金に協力してくれる人が増え、手応えを感じることができました。今回も小さなお子さん連れの人のご協力が目立ちました。驚いたのは、お札を入れてくれる人が半分以上いましたし、複数枚を入れてくれた人もいました。声はガラガラに枯れましたが。充実感のある街頭募金でした。東京武蔵野多摩クラブの山口直樹さんも駆けつけてくれました。(石田記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

1. 「山中湖センター100周年記念募金」のクラウドファンディングは、期限の12月30日までに約360人から目標額に迫る合計9,255,000円のご寄付がありました。
2. 1月1日に起きた能登半島地震の被災地緊急支援募金を全国YMCAで一斉に開始しました。東京YMCAでは、1/9~24の間に5回の街頭募金を実施し、延べ200名を超える参加者が街頭に立ち、合計726,027円の募金を集めることができました。
3. 能登半島地震の復興支援活動を検討するため、1月7日から日本同盟と東京YMCAの職員が輪島市を中心に被災地の視察を行なっています。その中で、輪島市町野町にある避難所(町野小学校・東陽中学校)の運営サポートの依頼を受け、開始しています。
4. 今後の主な行事予定
 - ・「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング大会」2月4日
(ボウリングサロン・ザプリンスパークタワー東京)
 - ・「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」
2月1日~4日(上海)
 - ・「ソシアスフォーラム2023」2月17日(山手)
講師:佐渡加奈子氏
(認定NPO法人カタリバ/東京YMCA評議員)
 - ・「YMCAピンクシャツデー2024」
(いじめ反対キャンペーン)2月28日
 - ・「第33回チャリティーゴルフ大会」4月18日
(PGM総成ゴルフクラブ)
 - ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月27日
 - ・「高石ともや バングラデシュ支援チャリティーコンサート」4月29日(日本基督教団浅草教会)

これからの予定

2/6(火)19:00~20:30 2月例会 ベルブ永山

2/8(木)19:00~20:30 Y友広場 Zoom

2/12(月,祝) 19:00~20:30 2月第2例会 Zoom

「部長公式訪問」

2/14(水) 19:00~20:30 東新部会長会 Zoom

2/23(金,祝) 東新部EMCセミナー(別掲)

編集後記 2月4日は立春。被災地復興を祈る。(i.i)